

お問い合わせ/ご質問

Carbon to Forests代表 國田かおる kaoru@ctf.jp / www.ctf.jp

<プロフィール>

小学校時代をNY、高校時代をシドニーでそれぞれ過ごす。

帰国後、大学で環境法を学び、エネルギー会社に入社。一年間勤務後、進学のため退社。大学院で環境政策を学び直し、2004年松下政経塾入塾(25期生)。食糧、エネルギー、雇用といった分野で発生する課題に社会的責任とサステナビリティを付加する方法について研究。

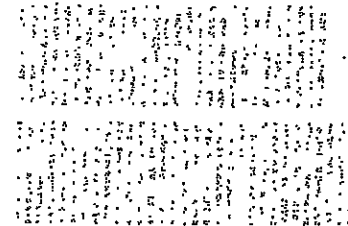
現場の感覚を大切にし、そこで刺激された感性に基づく情報を発信するカタリスト(反応を促進させる働きをする×現状を語る人)であることを心がけている。

2006年1月『日本をロハスに変える30の方法』(講談社)をNPOローハスクラブとして共著で執筆。2008年6月『カーボン・オフセット』(工業調査会)編著。

現在、環境分野における講演、執筆、普及啓発などに従事。



国田かおる



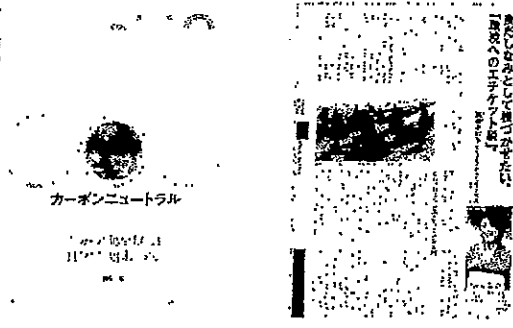
『Nature Interface』



EarthGuardian2006年11月



環境会議 2006年秋号



『GAS EPOCH』



函館新聞2008年7月

理事長紹介

横田克己【ヨコタカツミ】

1939年茨城県土浦市生まれ。1971年、みどり生協(のちに生活クラブ生協・神奈川)を創り、初代理事長に就任。以後、1992年退任までの21年間に、石けん運動や資源再利用運動などの社会運動をはじめ、ワーカーズ・コレクティブ、神奈川ネットワーク運動、参加型福祉といった、参加型システムによる運動・事業を行い、これらの実体化を主導した。2007年現在、福祉クラブ生協特別顧問、生活クラブ生協・神奈川名誉顧問、神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会顧問等を兼任、NPO地域創造ネットワークジャパン常務理事

著書及び寄稿論文「愚かな国の、しなやか市民」、「ほんの木」「オルタナティブ市民社会宣言」「現代の理論社」「参加型市民社会論」、他



環境と地球を脅かす～裁判官

生活者・市民の地球と生命にやさしいワーク & ライフスタイルの創造

生活者・市民の地球と生命にやさしいワーク & ライフスタイルの創造

本会では、地球環境問題の深刻化を背景として、市民の生活と地球環境の持続可能性を両立させることを目指しています。...



- その他の思い
1. 生活者のLCA(環境負荷の可視化)を行う環境アドバイザー職の創設を推進
2. 生活者向けにわかりやすいCO2削減ガイド、企業向けにCO2削減ガイドを創出
3. 環境ゼロを目指す一歩一歩の歩み

お知らせ
NPOや当事者の取組とのパートナーシップを求め、民間企業、行政機関等と連携して活動しています。...

環境倫理

- 「世代間倫理」
「自然の生存倫理」
「地球全体主義」

大切なのは、自らの「気づき」
「聞いたことは忘れる、見たことは覚える、
やったことはわかる、見つけた(発見した)事はできる」

「低炭素社会に向けた12の方策」
～2050年までに、温室効果ガス70%削減可能(1990年比)～

- 1・快適さを逃さない住まいとオフィス
2・トップランナー機器をレンタルする暮らし
3・安心で美味しい旬産旬消型農業
4・水と森林と共生できる暮らし
5・人と地球に責任を持つ産業・ビジネス
6・滑らかで無駄の無いロジスティクス
7・歩いて暮らせる街づくり
8・カーボンミニマム系統電力
9・太陽と風の地産地消
10・次世代エネルギー供給
11・「見える化」で賢い選択
12・低炭素社会の担い手づくり